

活動 報告

くずまき観光地域づくり協議会

くずまき型DMO

若者高校生検討部会

まちなかに新たな憩いの 場を創出

くずまき観光地域づくり協議会の若者高校生検討部会では、町民が休憩や勉強などで気軽に立ち寄れる居場所をまちなかにつくり、岩手大学の協力を得ながら新たな憩いの場づくりに取り組んでいます。



憩いの場として活用できるか地区センターや町家などを見学、調査



さまざまな年代や用途の人が町家を利用した場合を想定しての検証



自分がふんじた役柄から感じたことを書き出しまとめていく部会員たち



利用する上での問題点をまとめた結果を発表し合い、改善策を検討

くずまき暮らし体験ツアーを実施 地域と交流&仕事伝える

11月17日と18日の2日間、くずまき観光地域づくり協議会の移住交流検討部会(前野嗣郎^{しろう}会長)が検討した「くずまき暮らし体験ツアー」が行われ、東京都など県外から子育て世代を含む3組6人が参加しました。今回は、ファミリー向けとして企画。昨年度開催したツアーの参加者の意見を踏まえ、地域住民との触れ合いや仕事の情報提供に力を入れて実施しました。

小田部落会を訪問 地域暮らしを体験

小田部落会を訪問した参加者たちは自治会活動として毎年行われている「秋の収穫祭」の準備を見学。同地区に移住した新妻浩三さんによる移住体験談のほか、自治会活動や子育て環境などの話を直接地域の皆さんから聞いていました。その後、打ち立てのそばを味わい、河川公園の散策や空き家、定住促進住宅を

見学。同部落会の皆さんと交流をしながらの体験ツアーで、くずまき暮らしをより身近に感じ、イメージを膨らませることができたようでした。荒谷健一同部落会長は、「地域の魅力を知ってもらい良い交流ができたと感じています。今後も積極的に受け入れたいです」と振り返りました。

町の仕事紹介で 選択の幅広がる

「仕事セミナー」では、町内4つの事業所が参加し仕事の紹介をしました。酪農ヘルパーの木戸場真紀子さん(小苗代)は「私も県外から移住し、周りの人に子育てを支えてもらいながら仕事を続けている」と自身の経験を紹介。ツアーに参加した20代女性は「地方に移住するのなら、その町ならではの仕事もいろいろあった様子でした。」

地域おこし 協力隊レポ

石川智香隊員の活動報告

地域交流できる寄宿舍目指して

vol.14

葛巻高校魅力化コーディネーターの石川です。本年も地域おこし協力隊一同、よろしくお願ひします。

さて、31年度の山村留学生の応募が締め切られ、PRに協力いただいた皆さまのおかげで、前年より多くの応募がありました。ありがとうございました。

今年はグリーンテージの隣に新しい寄宿舍ができます。私が思う寄宿舍の運営は、まず生活の基盤をつくるのが大事だと思っています。生活のリズムを整えながら、日々のプレッシャーから解放されるような、安心できる環境づくりを心掛けること、県内外からさまざまな考えを持つ生徒が集まる中で、どうしたら寄宿舍がより良くなっていくのか、自分達に何ができるのか、ということを生徒達と一緒に考えることで、協働する力を身に付けてほしいと思っています。

生徒の成長には、地域の皆さんとの交流も欠かせません。なんといっても、町には面白い大人が多いですから！そして、交流を通じて、葛巻町を好きになって卒業してほしいです。

新しい寄宿舍は、地域の方と温かな交流を持ち、町を知る学びの一つになってほしいですね。



県が運営するイーハトーブブログに、「高校魅力化コーディネーター」の仕事が取り上げられました！

